

総合計画

【素案づくりに参加いただき ありがとうございます】

10年後の住みよい山陽小野田市の将来像を描く「総合計画」の素案ができあがりました。その策定の過程においては、多くの方にご参加いただき、まさに市民のみなさんとともに作り上げた“10年後のまちの設計図”となりました。

前ページにありますように、この案に対する「市民意見公募」の実施、「基本構想審議会」からの答申を受け、修正を重ねた後、最終案を9月議会に上程する予定です。

総合計画 素案づくりのこれまで

①アンケート調査の実施（平成 18 年 1 月）

- 市民アンケート
【対象者】18歳以上の市民 3,500人
【回答結果】1,407票（40.2%）
- 中学生アンケート
【対象者】市内の中学2年生全員
【回答結果】567票
- 職員アンケート
【対象者】市職員全員
【回答結果】962票

②まちづくり市民会議「総合計画部会」の開催

委員32人（公募市民24人 若手職員8人）が「ひと・地域班」「まち・産業班」「教育・福祉班」「生活・環境班」4つの班に分かれ、意見交換を行って、まちづくりの課題を抽出し、まちの将来像と実現方法、市民の役割をまとめました。（7回開催：平成18年2月～10月）

③地域懇談会の開催

- 第1回（平成18年2月：参加者109人）

地区別の意見交換により、地区別の特性、課題を抽出しました。

- 第2回（平成18年9月：参加66人）
基本構想案の中間報告を行い、構想案に対する意見をいただきました。

④基本構想審議会の開催

委員40人（学識経験者等30人 公募市民等10名）が、それぞれの立場や経験を基に、計画の内容について審議を行っています。7月開催の第5回の審議会で答申をいただく予定です。（平成18年4月～）



▲まちづくり市民会議「総合計画」部会のようす